

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
福山市沼隈町草深 1889 番地 6(沼隈支所3階)

TEL 980-7713

FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索!

第32回城西校区人権学習講座

第一講座 シンポジウム

子どもたちから学び・あゆみ そして人権教育の創造 ~ふりかえり いま伝えたい 人権教育~



とき 10月17日(金)午後7時30分~
ところ 山手コミュニティセンター

講師 藤田泰子さん (元山手幼稚園元教諭)

今川美代子さん (元山手幼稚園元教諭)

藤田正己さん (泉・山手小学校元教諭)

占部邦夫さん (城西中学校元教諭)

小島 寛さん (実行委員長)

進行 川崎正明さん (南部生涯学習センター)

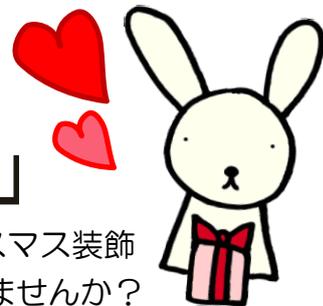
主催 城西校区人権学習講座実行委員会

問合せ 南部生涯学習センター TEL980-7714

クリスマスエール

「被災地に届けよう! 応援メッセージ」

12月21日(日)に沼隈図書館で行うクリスマスエールで、会場に飾るクリスマス装飾やツリーの製作と展示・ハンドベルの演奏など、イベントの企画を行ってみませんか?



ボランティアスタッフ募集!!!

説明会

とき 11月12日(水) 19時30分~

ところ 人権交流センター1階会議室

主催・申込み・問合せ 南部生涯学習センター TEL980-7713



しかくしょう とつ りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい みと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

南部こんなんやるday



沼隈図書館

TEL: 987-5630

◀展示▶作品展

「ねんどでつづる物語—ヒントは本の中—」



と き 10月1日(水)
~10月28日(火)
内 容 本や物語をテーマにした粘土
の花や動物を約30点展示
作品提供: 手仕事人 みちるさん

なでしこコンサート2014

と き 10月26日(日) 11:00~12:00
と ころ 沼隈図書館2階 市民ギャラリー
内 容 「江~姫たちの戦国」「花は咲く」「水戸黄門」
などを演奏
演 奏 サンパルオーケストラ
※臨時駐車場 沼隈支所



山手公民館

TEL: 951-9381

押し花で額づくり

と き 11月7日(金) 13:30~
と ころ 山手公民館 実習室
講 師 鈴木 まとみさん
内 容 花材を台紙に置き、密閉して
額を作りましょう。見本は山
手公民館にあります。

持ち物 手拭

締め切り 10月31日(金)

事前の申込みをお願いしま
す。定員になり次第締め切り
ます。

定員 20人

参加費 1,500円

ふくやま子どもフェスティバル 2014

たいけん! はっけん! 子どもわくワーク!

~やってみよう キッズお仕事体験~

【日時・場所】

日時: 11月3日(月・祝) 10:00~15:00

場所: まなびの館ローズコム・中央公園 (福山市霞町一丁目10-1)

※できるだけ公共交通機関でお越しください。

【内容】

お仕事体験コーナー/紙芝居・絵本の読み聞かせ/ふくめく(福山ご当地トレーディングカード)体験会
/飲食コーナー/消防体験・消防車両展示 など

★「ふくやまバスまつり2014」「福山うずみフェスタ2014」も同時開催!

※詳しくは、ホームページに掲載しています。

《主催》ふくやま子どもフェスティバル実行委員会

【問合せ】事務局 生涯学習課(084-928-1243)

中部生涯学習センター(084-932-7265)



ふくやま子どもフェスティバル2014

検索

報告

熊野学区 人権問題講演会

ふるさと輝いて生きる ～元氣の出る人権教育～

9月5日(金) 19時30分から、熊野公民館で、ふうふきぎょうにんげんこうがく夫婦輝業人間幸学研究所の和田芳治さんを講師に迎え、熊野学区人権問題講演会「ふるさと輝いて生きる～元氣のでる人権教育～」を開催いたしました。

講師の和田さんは、旧総領町の教育長を退職後、「里山を食べ物にしよう」などいくつかの著書を執筆されたり、過疎化の進む里山を盛り上げるイベントを企画するなど、まちづくりの推進に向け活躍されています。

問題講演会



今回の講演会では、持続可能な活用資源の世界的モデルとして評価のある里山を使ったまちづくりを紹介していただきました。その中で、笑顔の人に差別は似合わない。いい人間関係とは、「打てば響く人がいること」と話され、若者がいないことを嘆くのではなく、今いる人で、できることをしてみる。無いものねだりをせずに、前向きに考えて、元氣に挑戦することが大事。そういった活動が、地域の輝爆剤になる。と話されました。また講演中に、歌を歌われたり、木工の土産品やエコストーブなどを紹介していただいたり、とても楽しい講演でした。

人まちふくしフェスタ2014 @うつみぬまくま

ステージ・バザール・展示などがあります。
ぜひ、おこしてください。



とき **11月9日(日) 10時～15時**

ところ **沼隈支所駐車場・沼隈サンパル・沼隈福祉協会**

主催 人・まち・ふくしフェスタ2014@うつみ・ぬまくま実行委員会
事務局 常石公民館 TEL084-987-3839

じんけんは ひとりひとりの たからもの

10月4日(土)13時30分から、沼隈支所で、「発見!みらいの私」が開催されました。

広島県立歴史博物館で、博物館学芸員をされている平川孝志(ひらかわ たかし)さんと、株式会社白ばらでシェフパティシエをされている、山手健(やまて たけし)さんにお話ししていただきました。

博物館学芸員の平川さんに、まずパワーポイントを使い仕事の紹介や、やっていた良かったことなどをお話ししていただきました。グループに分かれてからは、タブレット端末を使ってくずし文字あてゲームや、博物館を見学するとき、細部まで見ることができるよう絵をデータ化しているお話をしてくださいました。そして、平田玉蘊(ひらた ぎょくうん)が、菅茶山(かん ちゃざん)の妻に送った巻物のレプリカを見せていただきました。箱の中から、大切にされた巻物にみんな興味津々で、身を乗り出して



てみていました。その際に、重要文化財など大切なものを扱う時の注意点も教えていただきました。大切な物を置く机の上には、えんぴつやペン、飲み物を置かない。ポケットにもペンを入れない。腕時計や指輪もはずす。など、取り扱い方以外にも傷つかないように、注意していることがわかりました。

次にパティシエの山手さんに、まずパワーポイントでケーキ作りの工程や難しいところ、お仕事の楽しいところをお話ししていただきました。グループに分かれてからは、目の前でケーキのデコレーションを実演してくださいました。参加した子どもたちは泡立てた生クリームをスポンジのうえに塗る体験をしました。目の前で、大きなケーキがどんどんできていくのをみて、自然と笑顔になりました。完成したケーキは、参加者でおいしくいただきました。



◎質問コーナー◎

博物館学芸員の平川さんにお聞きします。

Q1 もしも、大切な展示品を傷をつけてしまったら？

万が一のために、保険がかけてはあるけど、信用にかかわるので、慎重に慎重に作業するように気をつけています。

Q2 今まで取り扱った展示品で最も高価なものは何ですか？

展示品はすべて歴史があって、小さなかけらであっても文化財とおなじ価値があると思っています。どれも金額をつけるのは難しいのでわかりませんが、金額がわかるものであれば掛け軸が一番高価だったとおもいます。

パティシエの山手さんにお聞きします。

Q1 どの作業が一番緊張しますか？

ケーキを切るときです。クリームを塗るときと違って、1度切ると元に戻せないのが緊張します。

Q2 一日にどのくらいケーキを作りますか？

だいたい200~300個くらいです。誕生日の人が多くいる日はもっと多い時もあります。休日や祝日クリスマスなどのイベントのある日が、注文が多いので大変です。

